

研究分野		授業科目名		科目責任者
形態系分野		腫瘍病態治療学研究		(永坂 岳司)
開講年次	共通/専攻/選択		単位数	
1~4	必須専攻		20	
目的				
がん局所の病態を解析するための分子免疫学的手法を理解する。				
授業到達目標				
(1) がん局所および末梢血の細胞学的解析が実施できる。 (2) がん局所および末梢血のタンパクレベルの解析ができる。 (3) がん局所および末梢血の遺伝子学的解析ができる。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
第1週	水	16:30 - 17:00	岡脇 誠	がん病態と腫瘍免疫について フローサイトメトリ, CyTOF, ELISA, PCR, TAXIScan
第2週	水	16:30 - 17:00	永坂 岳司	家族性腫瘍とゲノム医療について ゲノムシーケンス解析, 統計解析
第3週	水	16:30 - 17:00	永坂 岳司	分子標的とがん治療について Southern, Northern, Western 解析
第4週	水	17:30 - 18:30	岡脇 誠	がん病態と緩和ケアについて タンパク定性・定量, アンケート解析
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
指導の際の討論をもってフィードバックとする。				
教科書				
指定しない。下記、参考書を参考にしてください。				
参考書				
ISBN-9784524237883, 新臨床腫瘍学：がん薬物療法専門医のために、日本臨床腫瘍学会編集, 南江堂, 2018 ISBN-9784431550303, Immunotherapy of cancer：an innovative treatment comes of age, 山口 佳之, Springer, 2016				
準備学習 (予習・復習等)				
参考書を1週間に1時間以上予習として読み、3年次までに各自通読すること。毎週の授業で修得した癌の解析方法や治療法を参考書と対比させて復習すること。				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的的方法論・思考法を知悉することが修了認定・学位授与の必要要件であり、本専攻はその能力を向上させる。				
注意事項・メッセージ				
(1) 評価方法に従って進める。 (2) 学位論文の受理、発表をもって評価する。 (3) がんを免疫で治すことを目標に、ともに研鑽しよう。				